

事業報告

理事長あいさつ

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全ての事業活動において困難な状況の中での遂行を余儀なくされました。しかしながら、当財団では、WEB会議システムなどのツールを完備し、積極的に活用するとともに、各事業においてウイルス対策、遠隔実施などそれぞれの事業関係者からさまざまなご協力を賜りながら趣向を凝らし、ほぼ計画通りに、一部は今まで以上の成果を得ながら事業を遂行いたしました。

事業面での大きなトピックスとして、まず、「日立感染症関連研究支援基金」の募集、選考、採択を実施したことが挙げられます。コロナ禍への対処において顕在化したさまざまな問題をエビデンスに基づき学術的に調査、分析、考察し、その知見を国際的に共有することをめざす研究に対して助成するもので、株式会社日立製作所ならびに同社役員や従業員、グループ会社役員からの寄付によって新設されました。採択された研究プロジェクトには、2021年12月から最長3年間の研究助成を行い、より強靱な社会の構築に資する研究を行う研究者たちを支援していきます。

加えて、科学技術イノベーションを通じたASEANの持続可能な社会の実現を目的に、令和2年度から開始した「日立財団アジアイノベーションアワード」は継続して実施しました。前年度同様、コロナ禍が収束しない中、残念ながら表彰式を行うことは叶いませんでしたが、WEBを活用し採択された研究内容を動画にて広く公開しました。今後も財団の海外事業として内容の充実を一層図るとともに、アジアの大学、研究機関への広報活動に力を入れ周知を図り、アジアの更なる経済発展に微力ながら貢献していく所存です。

平成27年4月の日立財団の発足以来、時代の要請に応じて、旧5財団時代の事業の改廃と、新設など事業改革を一貫として実施してまいりました。財団の主要事業は整いつつあり、SDGsを意識した持続可能な社会の構築や国民生活の向上、さらには国際社会へのさらなる貢献を目指して、各事業の価値向上と一層の情報発信を図ってまいります。

公益財団法人 日立財団

理事長

内藤 理

倉田奨励金（研究助成事業）

倉田奨励金は、グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学的研究を対象とする研究助成金です。

2021度は全国の大学、研究機関等から242件の応募をいただき、選考委員会による厳正な選考を経て、49名の研究者への助成を決定しました。

倉田奨励金による研究成果は、「倉田奨励金研究報告書」を発行する他、毎年3月1日に執り行う倉田奨励金贈呈式に合わせ研究報告会を実施し、研究期間を終えた受領者による研究成果の発表を行っています。2021年度は報告会の開催を中止いたしましたので、代表者4名に動画で発表いただきました。

■2021年度（第53回）倉田奨励金 受領者49名研究概要（2022年3月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics087.html>



■研究終了者代表4名による研究報告の動画（2022年3月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics088.html>



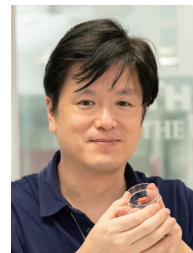
 <p>【エネルギー・環境分野】 北海道大学 石田 洋平氏 奨励金No.1324 ボトムアップ分子集積技術による新規金属ナノクラスター型人工光合成システムの提案</p>	 <p>【都市・交通分野】 山口大学 鈴木 祐麻氏 奨励金No.1398 逆浸透膜のナノスケールレベルの欠陥を簡易に修復する『ナノスケールバンドエイド』の開発</p>	 <p>【健康・医療分野】 埼玉医科大学 若山 俊隆氏 奨励金No.1416 高精度遠隔治療を実現する次世代内視鏡Visionの開発</p>	 <p>【人文・社会科学研究部門】 宇都宮大学 槇野 佳奈子氏 奨励金No.1428 科学の世紀を支えた科学普及活動—19世紀フランスにおけるレイ・フィギエの活動と現代における意義</p>
---	--	---	---

日立財団科学技術セミナー（啓発事業）

今回は、バイオハイブリッドシステム（生体と機械の融合）の研究をされている竹内昌治氏（東京大学大学院情報理工学系研究科/生産技術研究所 教授、神奈川県立産業技術総合研究所 プロジェクトリーダー）をお招きし、「細胞をつかったものづくり」の最先端研究について11月27日（土）、第17回 日立財団科学技術セミナーをオンラインで開催しました。

- 実績 登録者380名 実聴講者220名
- テーマ 「SFの世界に近づく先端工学～筋肉をまとうバイオハイブリッドロボットから培養肉まで」
- 開催日時 2021年11月27日（土）14:00～15:30（オンライン開催）
- 講師
竹内 昌治氏
東京大学大学院情報理工学系研究科/生産技術研究所 教授、神奈川県立産業技術総合研究所 プロジェクトリーダー
- 開催報告（2021年12月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics084.html>



日立感染症関連研究支援基金（研究助成事業）

日立感染症関連研究支援基金は、2021年4月～6月の募集期間を経て42件の応募を受け付け、選考委員会による厳正な審査の結果、助成対象研究プロジェクト5件を決定し、日立財団ウェブサイトでご公開しました。

<p style="text-align: center; color: white; font-weight: bold;">総合型研究</p>  <p>大西 昭郎氏 東京大学 公共政策大学院 客員教授 「パンデミックにおける公衆衛生経済学と感染症予防の価値に関する国際共同研究—新型コロナ感染症の教訓、および、将来の危機に対する科学的根拠に基づく提言」</p>	<p style="text-align: center; color: white; font-weight: bold;">領域開拓型研究</p>			
 <p>金子 明氏 大阪市立大学 大学院医学研究科 感染症科学センター センター長 寄生虫学分野 教授 「新型コロナウイルス感染症/パンデミック下のマラリア根絶：社会・経済学と医学の統合的アプローチを通じた熱帯アフリカにおける挑戦」</p>	 <p>田中 幹人氏 早稲田大学 政治経済学術院 教授 「COVID-19対策の国際比較分析～リスクコミュニケーション、専門知、市民社会」</p>	 <p>華井 和代氏 東京大学 未来ビジョン研究センター 講師 「ダウンサイドリスクを克服するレジリエンスと実践知の探究—新型コロナ危機下のアフリカにおける草の根の声」</p>	 <p>原本 英司氏 山梨大学 大学院総合研究部附属 国際流域環境研究センター 教授 「パンデミックへのレジリエンス向上のためのアジアにおける下水疫学調査の実装」</p>	

また、2022年1月12日（水）に、助成対象研究プロジェクトの研究概要発表会をオンラインで開催しました。

■「日立感染症関連研究支援基金」研究概要発表会開催報告（2022年1月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics085.html>



日立財団アジアイノベーションアワード（表彰事業）

日立財団アジアイノベーションアワードは、ASEANの社会課題解決と持続可能な社会実現に資する科学技術イノベーションを促進するために、2020年度より開始した表彰事業です。

本アワードでは、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献を目的として、あるべき社会像を描き、科学技術の社会実装を計画に入れた優れた研究および研究開発において、画期的な成果をあげ、明らかに公益に供したと思われる個人またはグループを表彰します。2021年度は対象大学および研究機関から推薦による応募を受け付け、厳正なる審査の結果、12名の受賞者が選定されました。

■2021年度(第2回)日立財団アジアイノベーションアワード受賞者

(2022年1月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics086.html>



最優秀賞



「水のBOD5(5日間の生物化学的酸素要求量)測定と水中毒性バイオセンサー装置(BODTOX)の開発」

Dr. Thuy Phuong Thi Pham
(ベトナム科学技術アカデミー)



優秀賞



「水銀・シアンを使わない金抽出法の開発と社会実装」

Dr. Herman Dumpit Mendoza
(フィリピン大学ディリマン校)



「遷移金属酸化物触媒による排気ガスおよび排水の処理技術」

Dr. Thang Minh Le
(ハノイ工科大学)



「水と土壌の汚染を軽減するグリーン技術を用いた植物性殺虫剤開発」

Dr. Yenny Meliana
(国家研究開発機構(旧インドネシア科学院))



奨励賞



「総合浮遊処理湿地および曝気システム導入によるマンジャウ湖の水質改善と生態系回復」

Dr. Cynthia Henny (国家研究開発機構(旧インドネシア科学院))



「循環型経済に向けて、難処理排水や電子機器廃棄物から有価金属を回収するスマートソリューション」

Ms. Ngan Thi Tuyet Dang (ハノイ工科大学)



「石油・ガス産業に起因する有機性汚染物質による水・土壌の汚染に対する微生物浄化剤の開発と応用」

Dr. Edwan Kardena (バンドン工科大学)



「流域保護のための宇宙ベースの管理・監視システム」

Mr. Roel Mallari De la Cruz (先端科学技術研究所)



「ワラセア地域の大規模空間における効果的な沿岸・海洋管理の実現」

Dr. Jamaluddin Jompa (ハサヌディン大学)



「ナムグム川流域の環境・健康・福利改善のための有機農業の再生と強化」

Dr. Vatthanamixay Chansomphou (ラオス国立大学)



「脱硫技術設計を活用したバイオガス利用効率の向上による大規模なバイオガス導入の促進」

Dr. Lyhour Hin (王立農業大学)



「持続可能な農業のためのトリコデルマ技術」

Dr. Virginia Castillo Cuevas (フィリピン大学ロスバニオス校)



人づくり

日立みらいイノベータープログラム（出張授業）

2021年度も教育委員会・小学校と綿密に連携を図り、2校3クラス82名の児童に対し、本プログラムを実施しました。

出張授業を完全オンライン化することで、コロナ禍でも安全で、円滑なプログラム運営を実現しました。株式会社日立ソリューションズ・テクノロジー、株式会社日立製作所、株式会社日立ハイテクから企業講師を派遣いただきました。児童たちはオンラインでも、講師からの適確なアドバイスをうけて、素晴らしい発表をしてくれました。

■実績 2県2校3クラス 小学校受講者数82名/講師6名

■実施校と講師派遣元

自治体	実施校	講師派遣元
東京都立川市	第七小学校	日立ソリューションズ・テクノロジー
埼玉県戸田市	美谷本小学校	日立製作所、日立ハイテク

■開催期間 2021年9月～2021年12月

■21年度出張授業実施レポート (2022年3月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/innovator/index.html>



理工系女子応援プロジェクト(啓発事業)

理工系女子応援プロジェクトは、女子中高生の理工系分野への進路選択を応援することを目的とした啓発活動です。プロジェクトのウェブサイト「わたしのあした」からの情報発信と、ウェブと連動したイベントの開催を行っており、日立財団はこの活動を通して、理工系女子の育成、人財の多様性とそれによるイノベーションの促進に貢献しています。

パイオニアトークVol.7

新しい事業をつくる、理系のお仕事～営業技術ってどんなお仕事？～

ゲスト：株式会社日立製作所 齋藤有香氏

インタビュアー：サイエンスエンターティナー 五十嵐美樹氏

<https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/dialog/vol7/01.html>



多文化共生社会の構築

「多文化共生社会の構築」シンポジウム(啓発事業)

高校生ワークショップを開催

LGBTQ+の正しい理解が未来を変える～高校生から広げる「アライ※」の輪～と題し、8月17日(火)に、高校生対象のワークショップをオンラインで開催しました。都内の4校の都立高校から各5名に参加いただき、LGBTQ+の方々が抱える悩みや葛藤、社会で直面する課題について理解を深め、一人ひとりの「ありのまま」の個性が尊重される社会を実現するため、明日からできることについて考えました。本ワークショップでは、グラフィックファシリテーションを取り入れ、参加者の声や想いを絵や色を使って描きあらわしていただき、皆で理解を深めていきました。

■講演録(2021年12月公開) https://www.hitachi-zaidan.org/activities/symposium/data/symposium_20210817.pdf



※「アライ」とは仲間や同盟を意味する英単語「Ally」が語源で、一般的にLGBTQ+への理解者・支援者を意味します。

多文化共生社会の構築フォーラム「外国につながるある高校生たちの『活躍する力』を拓く～夢に向かって自由な選択ができる社会へ」を開催

2021年12月19日(日)、多文化共生社会の構築フォーラム「外国につながるある高校生たちの『活躍する力』を拓く～夢に向かって自由な選択ができる社会へ～」をオンラインで開催しました。

■実績 登録者668名 実聴講者360名、後日のオンデマンド視聴者210名

■テーマ 外国につながるある高校生たちの『活躍する力』を拓く～夢に向かって自由な選択ができる社会へ～

■開催日時 2021年12月19日(日)13:00～17:00(オンライン開催)

■講演 兵頭 誠之氏 住友商事株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO

桐谷 次郎氏 神奈川県教育委員会 教育長

榎井 緑氏 大阪大学大学院 人間科学研究科未来共創センター 特任教授

■トークセッション 高橋 清樹氏 認定NPO法人多文化共生教育ネットワーク かながわ(ME-net)事務局長

榎井 緑氏 大阪大学大学院 人間科学研究科 未来共創センター 特任教授

■講演録(2022年3月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics089.html>

